

平成24年度

”釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ”  
活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成23年度活動報告への助言に対する状況報告



1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックハイウェイ	報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックハイウェイ 代表 桐木 茂雄	報告年月: 2013/3/31
-----------------------------	------------------------------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
⑤体験活動を知る・活かす		10	情報拠点シーニックカフェの連携「摩周温泉Home Sweet Home」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、ホームスイートホーム	通年	一般参加(来客数) 300名/月		○摩周温泉Home Sweet Homeのある「道の駅 摩周温泉」では、足湯を併設しており、温泉地としてのおもてなしを行っている。
		7	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会(Clear Stream Scenic Forest推進プロジェクト)	平成24年10月20日	主催側10名 一般参加40名	A - 2	○平成22年度より継続して実施しているそらの森(弟子屈飛行場跡地)での森づくり活動を本年も実施。シーニックの森制度でのカーボンオフセットの森づくりだけではなく、飛行場跡地の自然再生の森づくりも目指している。
		8	「釧路湿原-阿寒-摩周バリフリツーリズム」推進体制づくり	ルート運営委員会	平成24年10月30日～11月2日	4人(主催側) 2人(参加者)	A - 1	○インターネットの公募から、東京都より2名の調査員(高齢者+同伴者)を招き、介助ヘルパーが同行する形でのモニターツアーを実施した。
2)食を知る・活かす	①地場産品を知る・伝える	1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ(pan de pan、900草原Home Sweet Home、摩周温泉Home Sweet Home、caffé kaiyodai、gelato siretoco)	●カフェ営業:通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施:平成24年4月15日・12月12日	主催側 30名		○ルート内5箇所の飲食店(カフェ)が連携し、情報拠点として、ドライブ情報や地域の食情報を発信した。年2回のカフェミーティングを実施し、3エリア5箇所のカフェのメンバーが活発な意見交換を行った。
		2	シーニックカフェスタンプラリーの実施(情報拠点シーニックカフェの連携)	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ(pan de pan、900草原Home Sweet Home、caffé kaiyodai、gelato siretoco)	●スタンプラリー実施:平成24年5月1日～10月31日	一般参加(応募者) 93名		○ルート内4箇所の飲食店(カフェ)が連携し、地域の魅力とともにドライブ情報などを発信した。応募者は約半数が道外からの参加者で、東京都が15名と最も多く、観光客にも好評であった。
		3	シーニックカフェ・道の駅・管内空港と連携したスタンプラリーの実施(くしろ・ねむろぐるっと!スタンプラリー)	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックハイウェイ事務局 参加シーニックカフェ(pan de pan、900草原Home Sweet Home、摩周温泉Home Sweet Home、caffé kaiyodai、gelato siretoco) 道の駅(しらぬか恋間、阿寒丹頂の里、摩周温泉、知床らうす、おだいとう、スワン44ねむろ、厚岸グルメパーク) 管内空港(たんちよう釧路空港、根室中標津空港)	●スタンプラリー実施:平成24年7月21日～10月31日	一般参加(応募者) 583名		○ルート内のシーニックカフェと道の駅、空港が連携し、地域の魅力とともにドライブ情報などを発信した。シーニックカフェスタンプラリーに比べると、道内居住者の応募者数が多かったが、首都圏や東北地方など全国各地からの参加も多かった。
		11	新千歳空港でのPR活動	北海道空港	平成24年7月30日～8月5日	主催側 4名		○新千歳空港において、地域の食材の販売会を行うとともに、地域の魅力についてのPRを行った。
②新たな地域食材を知る・活かす(道東の新たな食文化づくり)		12	情報拠点シーニックカフェの連携「900草原Home Sweet Home」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、ホームスイートホーム	平成24年4月25日～11月30日	一般参加(来客数) 100名/月		○弟子屈産の野菜や果実、摩周そばを使ったメニューを販売するなど、地域食材を積極的に使用している。
		13	情報拠点シーニックカフェの連携「caffé kaiyodai」	シーニックカフェ「caffé kaiyodai」、中標津町商工会青年部	平成24年4月25日～11月30日	一般参加(来客数) 2500名		○中標津町で採取したハチミツを使ったソフトクリームを販売するなど、地域食材を積極的に使用している。
		9	情報拠点シーニックカフェの連携「Pan de Pan」	Pan de Pan	通年	一般参加(来客数) 150名/月		○シーニックカフェPan de Panでは、カフェ入口前に足湯を設置し、温泉地としてのおもてなしを行っている。
		10	情報拠点シーニックカフェの連携「摩周温泉Home Sweet Home」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、ホームスイートホーム	通年	一般参加(来客数) 300名/月		○摩周温泉Home Sweet Homeのある「道の駅 摩周温泉」では、足湯を併設しており、温泉地としてのおもてなしを行っている。
		14	情報拠点シーニックカフェの連携「gelato siretoco」	シーニックカフェ「gelato siretoco」、中標津町商工会青年部	通年	一般参加(来客数) 2000名		○中標津牛乳や近郊の素材を使ったジェラートを販売しており、地域食材を積極的に使用している。

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 代表 桐木 茂雄	報告年月: 2013/3/31
-----------------------------	------------------------------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
3)文化や歴史を知る・活かす	①地域の各種文化を知る・活かす	15	懐かしーニックパネル展の開催 (釧路空港・中標津空港・道の駅「摩周温泉」)	景観まちづくり部会	釧路空港(6月22日～3月※中断期間あり) 中標津空港(7月11日～1月9日※中断期間あり) 道の駅「摩周温泉」(6月～3月)	一般参加 (来客数) 5000名		○昭和初期に撮影した、阿寒や弟子屈の写真をルート内巡回写真展として展示している。昭和初期の生活や道路状況など、地域の文化を伝えている。	
		16	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ パネル展 ～ステキな景色と出会いを求めて出かけよう～	ルート運営委員会	道の駅「摩周温泉」(11月～3月)	一般参加 (来客数) 500名		○釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイの活動紹介のほか、地域の美しい風景などの写真をパネル展示している。	
	②地域の歴史を知る・活かす	15	懐かしーニックパネル展の開催 (釧路空港・中標津空港・道の駅「摩周温泉」)	景観まちづくり部会	釧路空港(6月22日～3月※中断期間あり) 中標津空港(7月11日～1月9日※中断期間あり) 道の駅「摩周温泉」(6月～3月)	一般参加 (来客数) 5000名		○昭和初期に撮影した、阿寒や弟子屈の写真をルート内巡回写真展として展示している。昭和初期の生活や道路状況など、地域の文化を伝えている。	
		17	リレー清掃「中標津奉仕清掃」	中標津町役場	平成24年6月3日	主催側 10名 一般参加 100名		○中標津町役場が主催する清掃活動に、中標津町商工会青年部を中心に参加した。	
	②個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり<整える・つなぐ>	1)地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える	18	リレー清掃「弟子屈エリア 摩周湖クリーンウォーク2012」	弟子屈町役場	平成24年6月2日	主催側 20名 一般参加 200名		○弟子屈町役場が主催する清掃活動に、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、ボランティアネットワークチャレンジ隊、中標津町商工会など20名が参加した。
			4	沿道花壇への植栽	阿寒町花いっぱい運動推進協議会、阿寒湖温泉連合町内会、NPO法人阿寒観光協会まちづくり機構、弟子屈町自治会連合会、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、中標津町商工会女性部、標茶町虹別市街町内会	平成24年6月(各団体個別実施)	主催側 約1000名		○ルート内9団体が、居住地域の沿道へ植栽を行った。
7			そらの森 植樹会	景観まちづくり部会(Clear Stream Scenic Forest推進プロジェクト)	平成24年10月20日	主催側10名 一般参加40名	A - 2	○そらの森(弟子屈飛行場跡地)は一般国道241号に面しており、地域による森づくりは景観づくりにも直結している。	
19			協働型インフラ・マネジメント 企画アドバイザー会議への協力(ルート景観づくりマスタープランの進捗確認)	釧路開発建設部	平成24年9月12日、12月11日、平成25年3月(予定)	各回15名程度		○ルート景観づくりマスタープランの進捗状況について検討、確認を行った。	
15			懐かしーニックパネル展の開催 (釧路空港・中標津空港・道の駅「摩周温泉」)	景観まちづくり部会	釧路空港(6月22日～3月※中断期間あり) 中標津空港(7月11日～1月9日※中断期間あり) 道の駅「摩周温泉」(6月～3月)	一般参加 (来客数) 5000名		○昭和初期に撮影した、阿寒や弟子屈の写真をルート内巡回写真展として展示している。昭和初期の生活や道路状況など、地域の文化を伝えている。	
②物語のあるみちをつくる	2)物語のあるみちをつくる	16	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ パネル展 ～ステキな景色と出会いを求めて出かけよう～	景観まちづくり部会	道の駅「摩周温泉」(11月～3月)	一般参加 (来客数) 500名		○釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイの活動紹介のほか、地域の美しい風景などの写真をパネル展示している。	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 代表 桐木 茂雄	報告年月: 2013/3/31
-----------------------------	------------------------------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
2) 観光客を受け入れる環境を整える	①おもてなしの質を整える	1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan, 900草原 Home Sweet Home、摩周温泉Home Sweet Home、caffé kaiyodai, gelato siretoco)	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施: 平成24年4月15日・12月12日	主催側 30名		○ルート内5箇所の飲食店(カフェ)が連携し、情報拠点として、ドライブ情報や地域の食情報を発信した。年2回のカフェミーティングを実施し、3エリア5箇所のカフェのメンバーが活発な意見交換を行った。	
		2	シーニックカフェスタンプラリーの実施 (情報拠点シーニックカフェの連携)	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan, 900草原 Home Sweet Home、caffé kaiyodai, gelato siretoco)	●スタンプラリー実施: 平成24年5月1日～10月31日	一般参加 (応募者) 93名		○ルート内4箇所の飲食店(カフェ)が連携し、地域の魅力とともにドライブ情報などを発信した。応募者は約半数が道外からの参加者で、東京都が15名と最も多く、観光客にも好評であった。	
		3	シーニックカフェ・道の駅・管内空港と連携したスタンプラリーの実施 (くしろ・ねむろぐると！スタンプラリー)	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ事務局 参加シーニックカフェ (pan de pan, 900草原 Home Sweet Home、摩周温泉 Home Sweet Home、caffé kaiyodai, gelato siretoco) 道の駅(しらぬか恋間、阿寒丹頂の里、摩周温泉、知床らうす、おだいとう、スワン44ねむろ、厚岸グルメパーク) 管内空港(たんちよう釧路空港、根室中標津空港)	●スタンプラリー実施: 平成24年7月21日～10月31日	一般参加 (応募者) 583名		○ルート内のシーニックカフェと道の駅、空港が連携し、地域の魅力とともにドライブ情報などを発信した。シーニックカフェスタンプラリーに比べると、道内居住者の応募者数が多かったが、首都圏や東北地方など全国各地からの参加も多かった。	
		8	「釧路湿原-阿寒-摩周バリエーション」推進体制づくり	ルート運営委員会	平成24年10月30日～11月2日	4人(主催側) 2人(参加者)	A - 1	○インターネットの公募から、東京都より2名の調査員(高齢者+同伴者)を招き、介助ヘルパーが同行する形でのモニターツアーを実施した。	
	②既存施設の質を整える	1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan, 900草原 Home Sweet Home、摩周温泉Home Sweet Home、caffé kaiyodai, gelato siretoco)	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施: 平成24年4月15日・12月12日	主催側 30名		○ルート内5箇所の飲食店(カフェ)が連携し、情報拠点として、ドライブ情報や地域の食情報を発信した。年2回のカフェミーティングを実施し、3エリア5箇所のカフェのメンバーが活発な意見交換を行った。	
		1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan, 900草原 Home Sweet Home、摩周温泉Home Sweet Home、caffé kaiyodai, gelato siretoco)	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施: 平成24年4月15日・12月12日	主催側 30名		○ルート内5箇所の飲食店(カフェ)が連携し、情報拠点として、ドライブ情報や地域の食情報を発信した。年2回のカフェミーティングを実施し、3エリア5箇所のカフェのメンバーが活発な意見交換を行った。	
	3) 地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する	①地域の魅力(景観)をつないだ感動ドライブコースの提供	20	Driving Hokkaidoへの情報提供および協力	シーニックバイウェイ支援センター	平成24年12月サイトOPEN			○地域の魅力を伝えるサイト(Driving Hokkaido)の構築にあたり、地域情報の提供、協力を行った。
			21	Byway発行に向けた情報収集・提供およびフォローアップ	シーニックバイウェイ支援センター	平成24年秋号、平成25年冬春号			○年に2回発行されるBywayの作成にあたり、最新の地域情報や地域住民のみが知っているような魅力についての情報提供を行った。
8			「釧路湿原-阿寒-摩周バリエーション」推進体制づくり	ルート運営委員会	平成24年10月30日～11月2日	4人(主催側) 2人(参加者)	A - 1	○インターネットの公募から、東京都より2名の調査員(高齢者+同伴者)を招き、介助ヘルパーが同行する形でのモニターツアーを実施した。	
②地域の魅力(体験)をつないだ道東ツーリズムの提供		21	Byway発行に向けた情報収集・提供およびフォローアップ	シーニックバイウェイ支援センター	平成24年秋号、平成25年冬春号			○年に2回発行されるBywayの作成にあたり、最新の地域情報や地域住民のみが知っているような魅力についての情報提供を行った。	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 代表 桐木 茂雄	報告年月: 2013/3/31
-----------------------------	------------------------------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
4)各種情報を伝える・蓄える	①HP・各種広報誌等による情報提供	5	ルートHPおよびSNSでの情報発信	情報広報部会	通年(随時)	主催側 (地域ライター) 37名	A — 3	○地域住民がブログライターとなってHPでの観光情報の発信を行ってきたが、発信情報数、HPアクセス数が減少していることから、平成24年度中にSNSも活用した情報発信方法の再構築を予定。
		22	ルートパンフレットの作成(更新)	観光交流部会・情報広報部会・シーニックカフェプロジェクト	随時配布	約1000枚配布	A — 3	○各種広報イベントなどで活用できる釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイのパンフレットを作成した。
		23	四季に応じたオリジナルルートポスターの作成	観光交流部会・情報広報部会・シーニックカフェプロジェクト	随時各所に掲示		A — 3	○地域の魅力が伝わるA1のポスター(春夏秋冬で4種類)を作成し、写真展や各種イベントで活用した。
		24	移動距離・時間マップの作成と配布	観光交流部会・情報広報部会・シーニックカフェプロジェクト	通年		A — 3	○移動距離と移動時間をひとめで把握できるとともに、ルート周辺の観光地やシーニックカフェなど、地域の魅力を伝える情報も掲載したマップを作成、配布した。
		25	ビギナーズドライブマップの作成と配布	観光交流部会・情報広報部会・シーニックカフェプロジェクト	通年		A — 3	○ルートに始めてきた観光客を対象として、各観光地の位置を把握しやすく、ドライバー情報も掲載したビギナーズドライブマップを作成、配布した。
		26	ヒヤリハットマップ作成への情報提供および協力	釧路開発建設部	平成24年5月、平成25年2月	主催側20名程度		釧路開発建設部の作成したヒヤリハットマップの表面に、観光客が手に取りやすくなるための道東エンジョイマップを作成し提供した。
		20	Driving Hokkaido(外国語版)への情報提供および協力	シーニックバイウェイ支援センター	平成24年12月サイトOPEN			○地域の魅力を伝えるサイト(Driving Hokkaido)の構築にあたり、地域情報の提供、協力を行った。
		21	Byway発行に向けた情報収集・提供およびフォローアップ	シーニックバイウェイ支援センター	平成24年秋号、平成25年冬月号			○年に2回発行されるBywayの作成にあたり、最新の地域情報や地域住民のみが知っているような魅力についての情報提供を行った。
		1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ(pan de pan、900草原Home Sweet Home、摩周温泉Home Sweet Home、caffé kaiyodai、gelato siretoco)	●カフェ営業:通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施:平成24年4月15日・12月12日	主催側30名		○ルート内5箇所の飲食店(カフェ)が連携し、情報拠点として、ドライブ情報や地域の食情報を発信した。年2回のカフェミーティングを実施し、3エリア5箇所のカフェのメンバーが活発な意見交換を行った。
		1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ(pan de pan、900草原Home Sweet Home、摩周温泉Home Sweet Home、caffé kaiyodai、gelato siretoco)	●カフェ営業:通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施:平成24年4月15日・12月12日	主催側30名		○ルート内5箇所の飲食店(カフェ)が連携し、情報拠点として、ドライブ情報や地域の食情報を発信した。年2回のカフェミーティングを実施し、3エリア5箇所のカフェのメンバーが活発な意見交換を行った。
②観光案内施設等による情報提供	24	移動距離・時間マップの作成と配布	観光交流部会・情報広報部会・シーニックカフェプロジェクト	通年		A — 3	○移動距離と移動時間をひとめで把握できるとともに、ルート周辺の観光地やシーニックカフェなど、地域の魅力を伝える情報も掲載したマップを作成、配布した。	
	25	ビギナーズドライブマップの作成と配布	観光交流部会・情報広報部会・シーニックカフェプロジェクト	通年		A — 3	○ルートに始めてきた観光客を対象として、各観光地の位置を把握しやすく、ドライバー情報も掲載したビギナーズドライブマップを作成、配布した。	
③各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	5	ルートHPおよびSNSでの情報発信	情報広報部会	通年(随時)	主催側 (地域ライター) 37名	A — 3	○地域住民がブログライターとなってHPでの観光情報の発信を行ってきたが、発信情報数、HPアクセス数が減少していることから、平成24年度中にSNSも活用した情報発信方法の再構築を予定。	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックハイウェイ	報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックハイウェイ 代表 桐木 茂雄	報告年月: 2013/3/31
-----------------------------	------------------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
③地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり<創る・整える>	1)自然と共に生きる意識を育てる	①地域(子ども達)への環境教育	7	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会(Clear Stream Scenic Forest推進プロジェクト)	平成24年10月20日	主催側10名 一般参加40名	A — 2	○平成22年度より継続して実施しているそらの森(弟子屈飛行場跡地)での森づくり活動を本年も実施。シーニックの森制度でのカーボンオフセットの森づくりだけではなく、飛行場跡地の自然再生の森づくりも目指している。
		②来訪者(観光客)へのインタープリテーション	8	「釧路湿原-阿寒-摩周バリエリツーツーリズム」推進体制づくり	ルート運営委員会	平成24年10月30日~11月2日	4人(主催側) 2人(参加者)	A — 1	○インターネットの公募から、東京都より2名の調査員(高齢者+同伴者)を招き、介助ヘルパーが同行する形でのモニターツアーを実施した。
	2)自然を保全・活用する仕組みを創る	①自然を守るルールをつくる	—	—	—	—	—	—	—
		②自然を保護・育成する仕組みをつくる	1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ(pan de pan、900草原 Home Sweet Home、摩周温泉 Home Sweet Home、caffé kaiyodai、gelato siretoco)	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施: 平成24年4月15日・12月12日	主催側 30名		○ルート内5箇所の飲食店(カフェ)が連携し、情報拠点として、ドライブ情報や地域の食情報を発信した。年2回のカフェミーティングを実施し、3エリア5箇所のカフェのメンバーが活発な意見交換を行った。
	3)循環型社会のビジネスモデルを育てる	①コミュニティビジネスを育てる	1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ(pan de pan、900草原 Home Sweet Home、摩周温泉 Home Sweet Home、caffé kaiyodai、gelato siretoco)	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施: 平成24年4月15日・12月12日	主催側 30名		○ルート内5箇所の飲食店(カフェ)が連携し、情報拠点として、ドライブ情報や地域の食情報を発信した。年2回のカフェミーティングを実施し、3エリア5箇所のカフェのメンバーが活発な意見交換を行った。
			5	ルートHPおよびSNSでの情報発信	情報広報部会	通年(随時)	主催側(地域ライター) 37名	A — 3	○地域住民がブログライターとなってHPでの観光情報の発信を行ってきたが、発信情報数、HPアクセス数が減少していることから、平成24年度中にSNSも活用した情報発信方法の再構築を予定。
		②地域経済循環の仕組みを創る	1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ(pan de pan、900草原 Home Sweet Home、摩周温泉 Home Sweet Home、caffé kaiyodai、gelato siretoco)	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施: 平成24年4月15日・12月12日	主催側 30名		○ルート内5箇所の飲食店(カフェ)が連携し、情報拠点として、ドライブ情報や地域の食情報を発信した。年2回のカフェミーティングを実施し、3エリア5箇所のカフェのメンバーが活発な意見交換を行った。

# 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

A-1

*Clear Stream Scenic Byway*

活動名：「釧路湿原-阿寒-摩周バリアフリーツーリズム」推進体制づくり

- 【概要】公募によって2名の調査員（障がい者＋同伴者）を招き、介助ヘルパーが同行する形でのモデルツアーを実施した。今年度は旭川地域のNPO法人（旅とぴあ北海道）にもご協力いただき、地域で連携したツーリズムについて実証した。ツアーを通じて、高齢者や障がい者の旅行におけるサポートの課題を把握するとともに、地域主体となった“おもてなしする体制”のあり方を学ぶための勉強会を行う（平成25年2月実施予定）。
- 【日時】平成24年10月30日～11月2日（3泊4日）
- 【場所】旭山動物園、アイヌシアターイコロ、900草原、摩周湖、硫黄山、阿寒湖遊覧船など
- 【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
- 【参加人数】2名：障がい者（車椅子）＋同伴者（障がい者の母親）



▲この写真とともに平成24年11月26日の釧路新聞(1面)に「観光のバリアフリー化を」「車いす利用サポート」「モデルツアー実施」という内容で釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイの活動が記事として取り上げられました

# 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

A-2

*Clear Stream Scenic Byway*

活動名：そらの森 植樹会(景観まちづくり部会)

【概要】 景観まちづくり部会では、平成22年度より継続して実施しているそらの森（弟子屈飛行場跡地）での植樹活動を継続的に実施しており、飛行場跡地の自然再生だけでなく、シーニックの森制度を活用したカーボンオフセットの森づくりを行っている。地域の子供達や障がい者にも参加していただき、環境教育的な位置づけも担っている。

【日時】 平成24年10月20日 9時～12時

【場所】 そらの森（弟子屈町飛行場跡地：一般国道241号沿い）

【主催】 景観まちづくり部会 Clear Stream Scenic Forestプロジェクト・弟子屈エリア

【参加人数】 30名



参加メンバー



植樹の様子

# 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：HP・各種広報誌等による情報提供(観光交流部会・情報広報部会・シーニッカフェプロジェクト)

- 【概要】 Webサイトや各種マップ（ビギナーズドライバーマップ、移動距離・時間マップ）、地域の美しい四季のポスター、ルート紹介パンフレットを作成、活用して釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイの魅力を伝えられるような情報提供を進めた。
- 【日時】 平成24年4月～平成25年3月
- 【場所】 道の駅、たんちょう釧路空港、根室中標津空港などでの配布・掲示
- 【主催】 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ



ルート紹介パンフレット

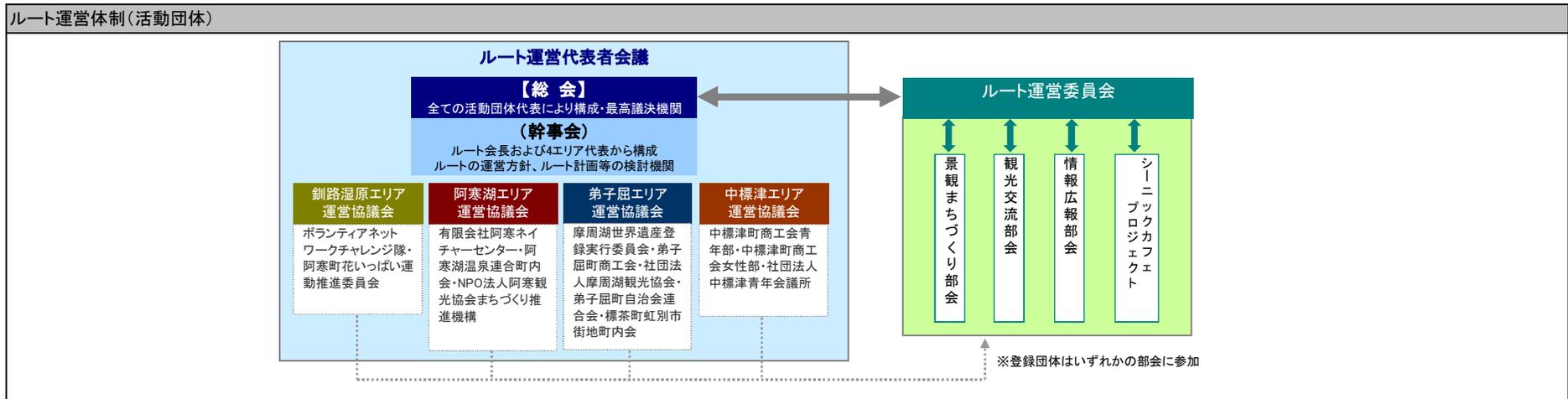


ルート紹介ポスター(左:秋版、右:冬版)

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックハイウェイ	報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックハイウェイ 代表 桐木 茂雄	報告年月: 2013/3/31
-----------------------------	------------------------------------	-----------------

<p><b>活動団体</b></p> <p>釧路湿原エリア: ボランティアネットワークチャレンジ隊・阿寒町花いっぱい運動推進委員会          阿寒湖エリア: NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構、(有)阿寒ネイチャーセンター、阿寒湖温泉連合町内会          弟子屈エリア: 摩周湖世界遺産登録実行委員会、弟子屈町商工会、(社)摩周湖観光協会、弟子屈町自治会連合会、標茶町虹別市街町内会          中標津エリア: 中標津町商工会青年部、(社)中標津青年会議所、中標津町商工会 女性部  <b>&lt;全13団体&gt;</b></p>
--



	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営代表者会議			●6/27 (総会)										
	幹事会・運営委員会		●5/15 (合同)				●9/12 (合同)			●12/11 (合同)			●3/19 (合同)	※SNS勉強会 SNSとHPを併用した 情報発信方法につ いて勉強会を行う予 定
	分科会	●4/15 カフェミーティング (カフェ)	●5/20 植樹会(景観)	●6/2 クリーンウォーク (景観) ●6/3 中標津清掃 (景観)				●10/20 そらの森植 樹会(景観)		●12/12 カフェミーティング (カフェ)		●2/21 SNS勉強会 (情報)		※バリアフリー勉強会 受け入れ側の地域 の望ましいおもてな し方法を学ぶ勉強 会を行う予定
	実行委員会等							●10/30-11/2 バリアフリーモニターツアー				●2/21 バリアフリー勉強会		

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックハイウェイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2013/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	行政連絡会議の実施			●6/27 (本会)										6月に本会を実施した。次年度以降も、積極的に開催したい。

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2013/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No.
①地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり <知る・活かす>	1) 地域を知る・活かす(自然・景観・産業)	シーニックカフェへの自治体パンフレットの提供	平成24年度	釧路市、標茶町、弟子屈町、中標津町、別海町、鶴居村	・ルート内行政機関及び観光協会が発行するパンフレットをシーニックカフェ内に設置しており、今年度も各自治体より観光パンフレットの提供を受けた。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加及びサポートを進めたい。	・ルート内で行われた様々な活動へ参加した。 ・来年度以降も、関係行政機関と連携を図り、積極的な活動参加及びサポートを進め、地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくりに繋げたい。	1
		シーニックカフェスタッフミーティングへの参加	平成24年4月15日 平成24年12月12日	釧路開発建設部	・「シーニックカフェスタッフミーティング」へ釧路開発建設部から職員が参加し、積極的な意見交換を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加及びサポートを進めたい。		2
		既存植樹会への参加	平成24年5月20日	釧路開発建設部、別海町、標茶町	・別海町内で行われた「シマフクロウの森づくり百年事業植樹祭」へ職員が参加。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加及びサポートを進めたい。		3
			平成24年10月20日	釧路開発建設部	・弟子屈町内で行われた「そらの森植樹会」へ職員が参加。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加及びサポートを進めたい。		
		くしろ・ねむろぐるっと！スタンプラリーの後援	平成24年7月21日 ～ 平成24年10月31日	釧路開発建設部	・スタンプラリーの実施にあたり、釧路開発建設部が管内の道の駅及び空港との連絡調整等を行った。また報道各社へお知らせをすると共に、釧路開建HP上での広報を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的なサポートを進めたい。		4
		★ゆきみらい2013in秋田でのルートPR活動への参加	平成25年2月7日～ 平成25年2月8日	釧路市、釧路開発建設部	ゆきみらい2013in秋田にて、次期開催地である釧路市と共に釧路開発建設部から職員が参加し、ルート活動についてPRを行う。		5
	2) 食を知る・活かす	★新千歳空港北海道魅力発見博でのルートPR活動への参加	平成24年7月30日～ 平成24年8月5日	釧路開発建設部	新千歳空港で実施したPR活動へ釧路開発建設部から職員が参加。		6
		★包括連携協定に基づく協働事業への取組	平成24年10月1日～ 平成24年10月31日	釧路総合振興局	(株) サッポロHDと道との包括連携協定に基づく協働事業(系列店を活用した食の販路拡大及び観光PR)の取組として、居酒屋「おおい北海道」にて、ポスターの掲示やパンフレットを設置した。		7
	3) 文化や歴史を知る・活かす	パネル展の開催	平成24年6月22日～ 平成25年3月	釧路開発建設部	・連携事業の一環として、釧路空港ロビーにおいて「僕がシーニックパネル展」をはじめとしたパネル展を実施。各種調整を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加及びサポートを進めたい。		8
			平成24年7月11日～ 平成25年1月9日	釧路開発建設部	・連携事業の一環として、中標津空港ロビーにおいて「僕がシーニックパネル展」をはじめとしたパネル展を実施。各種調整を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加及びサポートを進めたい。		
②個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり <整える・つなぐ>	1) 地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える	リレー清掃への参加	平成24年6月3日	中標津町	・中標津町内で行われた「中標津奉仕清掃活動」に職員が参加。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加及びサポートを進めたい。	・ルート内で行われた様々な活動へ参加した。 ・来年度以降も、関係行政機関と連携を図り、積極的な活動参加及びサポートを進め、競争力のある地域(ルート)づくりに繋げたい。	9
			平成24年6月2日	弟子屈町、釧路開発建設部	・弟子屈町内で行われた「摩周湖クリーンウォーク2012」に職員が参加。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加及びサポートを進めたい。		

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2013/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No.
		沿道花壇への植栽	平成24年6月	釧路開発建設部	・VSPの活動として、一部花苗等を提供した。 ・来年度以降は積極的に活動へ参加したい。		10
			平成24年6月20日	釧路建設管理部	道道屈斜路摩周湖線沿いの花植えに花苗等を提供した。		
		ルート景観づくりマスタープランに基づく沿道景観の改善	平成24年度	釧路開発建設部	・釧路開発建設部では、かねてからルート景観づくりマスタープランに即した景観形成に努めており、24年度は2カ所の改善を確認した。 ・来年度以降も引き続き活動を進めるとともに、関係機関との連携を強化したい。		11
	2) 観光客を受け入れる環境を整える	シーニックカフェスタッフミーティングへの参加	平成24年4月15日 平成24年12月12日	釧路開発建設部	・「シーニックカフェスタッフミーティング」へ釧路開発建設部から職員が参加し、積極的な意見交換を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加及びサポートを進めたい。		2
	3) 地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する	くしろ・ねむろぐると！スタンプラリーの後援	平成24年7月21日 ～ 平成24年10月31日	釧路開発建設部	・スタンプラリーの実施にあたり、釧路開発建設部が管内の道の駅及び空港との連絡調整等を行った。また報道各社へお知らせをすると共に、釧路開建HP上での広報を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的なサポートを進めたい。		4
	4) 各種情報を伝える・蓄える	ホームページによる、シーニックバイウエイ北海道及びエリア活動のPR	平成24年度	釧路開発建設部	釧路開建HPトップページにルートHPバナーを掲載。		12
			平成24年度	釧路市	釧路市観光振興室のページにルートHPバナーを掲載。		
			平成24年度	標茶町	標茶町HPリンクマップにおいて、ルートHPへのリンク設置。		
			平成24年度	中標津町	中標津町HPリンク集において、シーニックバイウエイ北海道へのリンクを設置のほか、今年度より経済振興課のページにルートHPバナーを掲載。		
平成24年度			釧路総合振興局	今年度よりHPトップページにルートHPバナーを掲載。			
平成24年度			釧路総合振興局釧路建設管理部	釧路建設管理部HPトップページにルートHPバナーを掲載。			
平成24年度			根室振興局	今年度より根室振興局ねむろ食と観光情報のページにルートHPバナーを掲載。			
平成24年度			釧路西部森林管理署	今年度より釧路西部森林管理署HPリンク集においてルートHPへのリンク設置。			
平成24年度	釧路運輸支局	今年度よりHPトップページにシーニックバイウエイ北海道HPバナーを掲載。					

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2013/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No.
		★ルートPRポスター(秋版)の掲示	平成24年 10月～12月	釧路開発建設部、釧路市、 標茶町、弟子屈町、中標津 町、別海町、鶴居村、釧路総 合振興局、釧路総合振興局 釧路建設管理部、根室振興 局、釧路西部森林管理署、 釧路東部森林管理署、釧路 自然環境事務所、釧路運輸 支局	事務局で作成したルートPRポスター(秋版)を各行政機関にて掲示。		13
		ヒヤリハットマップ(夏版・冬版)の作 成・配布	平成24年8月 平成25年2月	釧路開発建設部	観光客の方の多くが利用する、釧路空港から中標津空港にかけてのエリアを対象に、安全で安心なドライブを心がけていただくことを目的に、沿線住民の方々のご協力をいただきながらマップを作成し、管内の道の駅やレンタカー会社への配布を行った。		14
③地域内資源循環の実現 による、持続可能な地域 (ルート)づくり <創る・整える>	1) 自然と共に生きる意識を育てる (ルート)づくり <創る・整える>	既存植樹会への参加	平成24年5月20日	釧路開発建設部、別海町、 標茶町	・別海町内で行われた「シマフクロウの森づくり百年事業植樹祭」へ職員が参加。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加及びサポートを進めたい。	・ルート内で行われた様々な活動へ参加した。 ・来年度以降も、関係行政機関と連携を図り、積極的な活動参加及びサポートを進め、持続可能な地域(ルート)づくりに繋げたい。	4
			平成24年10月20日	釧路開発建設部	・弟子屈町内で行われた「そらの森植樹会」へ職員が参加。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加及びサポートを進めたい。		
	2) 自然を保全・活用する仕組みを 創る	既存植樹会への参加	平成24年5月20日	釧路開発建設部、別海町、 標茶町	・別海町内で行われた「シマフクロウの森づくり百年事業植樹祭」へ職員が参加。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加及びサポートを進めたい。		4
			平成24年10月20日	釧路開発建設部	・弟子屈町内で行われた「そらの森植樹会」へ職員が参加。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加及びサポートを進めたい。		
	3) 循環型社会のビジネスモデル を育てる	くしろ・ねむろぐるっと！スタンプラリーの後援	平成24年7月21日 ～ 平成24年10月31日	釧路開発建設部	・スタンプラリーの実施にあたり、釧路開発建設部が管内の道の駅及び空港との連絡調整等を行った。また報道各社へお知らせをすと共に、釧路開建HP上での広報を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加及びサポートを進めたい。		5

※表中“★”は、H24新規に実施した活動

5. 平成23年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 代表 桐木 茂雄	報告年月: 2013/3/31
-----------------------------	------------------------------------	-----------------

平成23年度活動報告への助言	平成24年度 状況報告	備考
<p>シーニックバイウェイ北海道の持続的かつ発展的な推進を図るため、多様なツール、手法を駆使した情報発信やPR活動を戦略的に行い、ブランドの形成、地域への浸透、海外を含めた他地域との交流促進に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれない。</p>	<p>・当該ルートでは、シーニックカフェプロジェクトにおいて、民間カフェ5店舗と連携し、ドライブ観光の推進にむけて、スタンプラリーの実施や地域内の観光パンフレットの設置、オリジナルパンフレットの製作など、様々な企画、ツールを活用して地域のPRを行っている。</p> <p>・ソーシャルネットワークの拡大を考慮し、平成24年度中にSNSとHPを併用した情報発信を実施する。また実施にあたってはSNSについての勉強を行い、知識の共有と活用方法の検討を行う。</p> <p>・今回のそらの森(弟子屈飛行場跡地)での植樹活動や釧路湿原-阿寒-摩周バリフリツーリズムのモニターツアーでは、障がい者に参加していただいた。高齢者や障がい者を受け入れる体制は北海道内でも十分ではなく、人材育成のための勉強会を実施するとともに、地域ビジネスのひとつとして展開することを予定している。</p>	

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2013/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

平成23年度活動報告への助言	平成24年度 状況報告	備考
<p>シーニックバイウェイ北海道の持続的かつ発展的な推進を図るため、多様なツール、手法を駆使した情報発信やPR活動を戦略的に行い、ブランドの形成、地域への浸透、海外を含めた他地域との交流促進に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれない。</p>	<p>・ぐるっと！スタンプラリーの後援や、シーニックカフェへのパンフレット提供など既存の取組に加え、新たに連絡会議構成各行政機関がHPにリンクを貼るなど、積極的にシーニックバイウェイ北海道のPRを行った</p> <p>・沿道花壇の植栽活動やそらの森植樹活動、クリーンウォーク(ゴミ拾い活動)への参加等、当該ルート内で実施された多数の地域活動に積極的に参加することにより、ルート活動団体との連携を深めることができた。</p> <p>・来年度以降も、ルート活動団体の意向の踏まえつつ、ブランドの形成やルート活動の基盤強化に繋がるサポートを、柔軟に行いたい。</p>	